

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業評価シート										令和 1 年度事後評価・決算		所管課		学校教育課		担当班		指導班	
事務事業名		コード	36300	青少年センター活動費		予算科目	会計	款	項	目	事業種別								
						一般		10		3									
施策体系	基本施策	29	防犯対策の充実		根拠法令	千葉県青少年健全育成条例													
	施策の展開	57	防犯体制の充実		戦略事業	254	青少年センター活動費												
	施策の展開	28	青少年の健全育成の推進		戦略事業														

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 21 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	近年、不審者による学校の侵入や登下校時等における子どもを巻き込んだ犯罪増加等、社会を震撼させる凶悪事件が発生している。本事業は、平成18年度から県主催の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」(千葉県スクールガード・リーダー)制度により市内各小学校を巡回しながら児童の安全確保や不審者対応訓練への支援、「子ども110番の家」の増設等、学校や子どもたちの安全確保のための体制づくりを進めてきた。 平成20年度で県の制度が終了したが、本市では引き続き、小学校の防犯活動を中核として活動するスクールガード・リーダーを配置し、地域の方々や学校・警察等との連携を図りながら、子どもたちが安心して過ごせる学校安全体制の整備として、平成21年度以降も継続して実施している。 また、市内の巡回活動として、児童の見守りを中核としているが、生徒及び18歳未満の有職・無職少年も含めた見守り及び防犯活動も実施している。	不審者による学校の侵入や登下校時等の子どもを巻き込んだ犯罪が増加し、平成18年度より県主催の千葉県スクールガード・リーダー制度により市内各小学校に巡回した。平成20年度で県の制度は終了したが、本市では引き続き、スクールガード・リーダーを配置し、子どもたちが安心して過ごせる学校安全体制の整備として、平成21年度から継続して実施している。	児童生徒等を巻き込む犯罪は、全国でも凶悪化が目立ち、いつどこで発生してもおかしくない。どの学校においても、不審者対応訓練は、喫緊の課題として大変重要である。市内における児童生徒に係る不審者情報だけでも年間30件ほどあり、いつ重大事故につながるか予測がつかず、日頃から不審者に対する対応力や地域の見守りの目が必要不可欠である。	・児童生徒及び保護者から防犯活動回数や人員の増加の要望 ・警察関係から本センターとの連携強化 ・学校から各種防犯研修会の実施を要望 ・保護者から防犯パトロールの要望や不審者情報の問合せ等

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1. 労災等保険料	3	臨時職員労災保険料	千円	2	2	10	3	14
2. 臨時雇用賃金	747	臨時職員1名(賃金、通勤)	千円	758	772	784	747	986
3. 消耗品費等	99	事務用品	千円	45	46	40	99	11
4. 燃料費	110	公用車用ガソリン代	千円	107	105	131	110	117
5. 通行料及び駐車料		通行料	千円	10	12	6		14
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円	事業費計(A)					
1. 国庫支出金			千円	922	937	971	959	1,142
2. 都道府県支出金			千円					
3. 地方債			千円					
4. その他			千円					
			千円	922	937	971	959	1,142

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 176 日 = 延べ 176 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

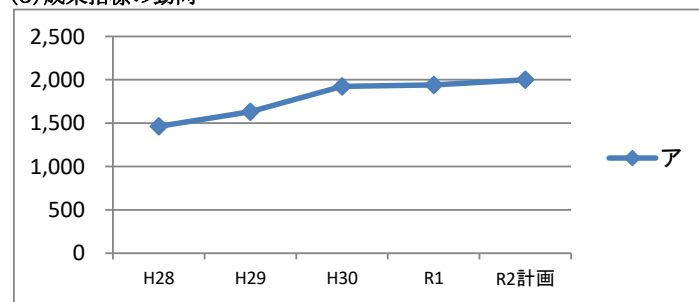
手段	① 主な活動 1年度実績(1年度に行った主な活動) ・臨時職員任用に関する事務処理 ・スクールガード・リーダーによる防犯活動計画 ・防犯パトロール及び啓発活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
		ア スクールガード・リーダーによる校内巡視及び巡回日数	日	175	162	159	176	170
		イ 不審者対応訓練教室等の実施回数	回	6	8	6	6	8
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか) 対象 ・旭市内の児童生徒及び18歳未満の有職・無職少年を対象 ・小・中学校の教職員や児童生徒をもつ保護者 ・教職員への助言・支援による組織的対応 ・不審者に関する防犯教育の推進及び啓発 意図 ・旭市内の児童生徒及び18歳未満の有職・無職少年を対象・小・中学校の教職員や児童生徒をもつ保護者 ・非行行為の早期発見による問題の拡大防止 ・犯罪の防止や防犯活動及び啓発	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
		ア 不審者情報の登録件数(防犯意識の高まり)	件	1,463	1,631	1,924	1,941	2,000
		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 比較 27年度 28年度 29年度 30年度 1年度 2計画 28年度 29年度 30年度 1年度 2計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容 今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()
	年間 児童生徒の見守り活動 不審者対応訓練教室の講師